

NY マーケットレポート (2015 年 2 月 12 日)

NY 市場では、米失業保険申請件数が市場予想より増加したことや、米小売売上高が 2 ヶ月連続のマイナスに悪化したことから、米景気の回復ペースに対する不透明感からドルが主要通貨に対して軟調な動きとなった。また、リスク回避の動きから円が買われる展開となり、クロス円も軟調な動きとなった。その後は、ギリシャの金融支援交渉への期待感が再び広がったことから、ユーロが対ドルなどで上昇となり、また米株価が終盤まで堅調な動きとなったことから、クロス円も小動きながら堅調な動きとなった。

2015/2/12 (木)

TOKYO	東京終値	東京高値	東京安値
USD/JPY	120.28	120.48	119.99
EUR/JPY	136.21	136.71	135.77
GBP/JPY	183.25	183.63	182.77
AUD/JPY	92.12	93.07	91.76
EUR/USD	1.1327	1.1353	1.1303

LONDON	LD高値	LD安値
USD/JPY	120.34	118.74
EUR/JPY	136.34	134.72
GBP/JPY	184.19	181.11
AUD/JPY	92.16	91.28
EUR/USD	1.1355	1.1319

*LD高安は東京クローズ～NYオープンまでの高安

アジア主要株価	終値	前日比
日経平均	17979.72	+327.04
ハンセン指数	24422.15	+107.13
上海総合	3173.42	+15.71
韓国総合指数	1941.63	-4.07
豪ASX200	5743.57	-25.51
インドSENSEX指数	28805.10	+271.13
シンガポールST指数	3419.17	-25.40

欧州主要株価	終値	前日比
英FT100	6828.11	+9.94
仏CAC40	4726.20	+46.82
独DAX	10919.65	+167.54
ST欧州600	374.83	+2.79
西IBEX35指数	10562.20	+197.40
伊FTSE MIB指数	21002.91	+437.15
南ア 全株指数	52507.93	+438.63

NEW YORK	NY終値	NY高値	NY安値
USD/JPY	118.97	119.84	118.52
EUR/JPY	135.64	135.83	135.12
GBP/JPY	183.09	184.18	182.32
AUD/JPY	92.05	92.25	91.60
NZD/JPY	88.35	88.81	88.02
EUR/USD	1.1403	1.1423	1.1328
AUD/USD	0.7737	0.7779	0.7669

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	17972.38	+110.24
S&P500	2088.48	+19.95
NASDAQ	4857.61	+56.43
その他主要株	終値	前日比
カナダトロント総合	15229.85	+78.35
ブラジルボルサ指数	43045.51	+1112.25
ボネバ指数	49532.72	+1293.05

2/13 経済指標スケジュール

11:00 【シンガポール】12月小売売上高
 15:30 【仏】4Q GDP
 16:00 【独】4Q GDP
 16:00 【独】1月卸売物価指数
 16:45 【仏】4Q非農業部門雇用者
 17:15 【スイス】1月生産者輸入価格
 18:00 【ポーランド】4Q GDP
 19:00 【欧】4Q GDP
 19:00 【欧】12月貿易収支
 22:00 【ポーランド】12月経常収支
 22:00 【ポーランド】12月貿易収支
 22:00 【ポーランド】1月消費者物価指数
 22:30 【カナダ】12月製造業出荷
 22:30 【米】1月輸入物価指数
 00:00 【米】2月ミシガン大学消費者信頼感指数

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1220.70	+1.10
NY 原油	51.21	+2.37
CMEコーン	383.00	-2.75
CBOT 大豆	983.75	+6.00

米国債利回り	本日	前日
2年債	0.63%	0.66%
3年債	1.02%	1.06%
5年債	1.49%	1.53%
7年債	1.80%	1.83%
10年債	1.99%	2.00%
30年債	2.57%	2.57%

2/13 主要会議・講演・その他予定

・ダラス連銀総裁 講演

(出所:SBILM)

NY 市場レポート

22:00

ドル/円 119.81 ユーロ/円 135.78 ユーロ/ドル 1.1334

22:00

欧州株式市場・米株価指数先物

欧州主要株価	株価	前日比	米株価先物	株価	前日比
英 FT100	6828.90	+10.73	ダウ INDEX FUTURE	17915	+84
仏 CAC40	4725.54	+46.16	S&P500 FUTURE	2076.00	+10.30
独 DAX	10924.42	+172.31	NASDAQ FUTURE	4319.00	+22.50

(出所:SBILM)

22:30

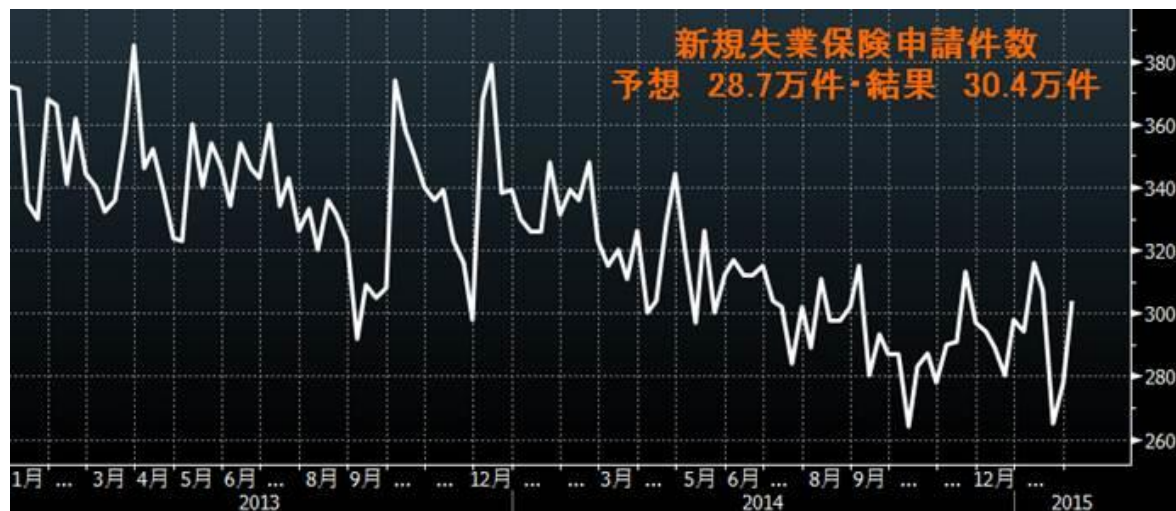
◀ 経済指標の結果 ▶

新規失業保険申請件数 30.4 万件（予想 28.7 万件・前回 27.9 万件）

前回発表の 27.8 万件から 27.9 万件に修正

失業保険継続受給者数 235.4 万人（予想 240.0 万人・前回 240.5 万人）

前回発表の 240.0 万人から 240.5 万人に修正



(出所:ブルームバーグ)



(出所:ブルームバーグ)

経済指標データ

《新規失業保険申請件数・継続受給者数》

申請件数・前週比・4週移動平均・受給者数・受給者比率

15/02/07	304,000	+25,000	289,750	*****
15/01/31	279,000	+12,000	293,000	2,354,000 1.8%
15/01/24	267,000	-42,000	299,250	2,405,000 1.8%
15/01/17	309,000	-8,000	307,000	2,394,000 1.8%
15/01/10	317,000	+13,000	300,000	2,463,000 1.8%
15/01/03	304,000	+6,000	293,000	2,428,000 1.8%
14/12/27	298,000	+17,000	290,750	2,485,000 1.9%
14/12/20	280,000	-8,000	290,500	2,352,000 1.8%
14/12/13	289,000	-6,000	298,750	2,407,000 1.8%
14/12/06	295,000	-2,000	299,500	2,378,000 1.8%

受給者数は集計が 1 週間遅れる

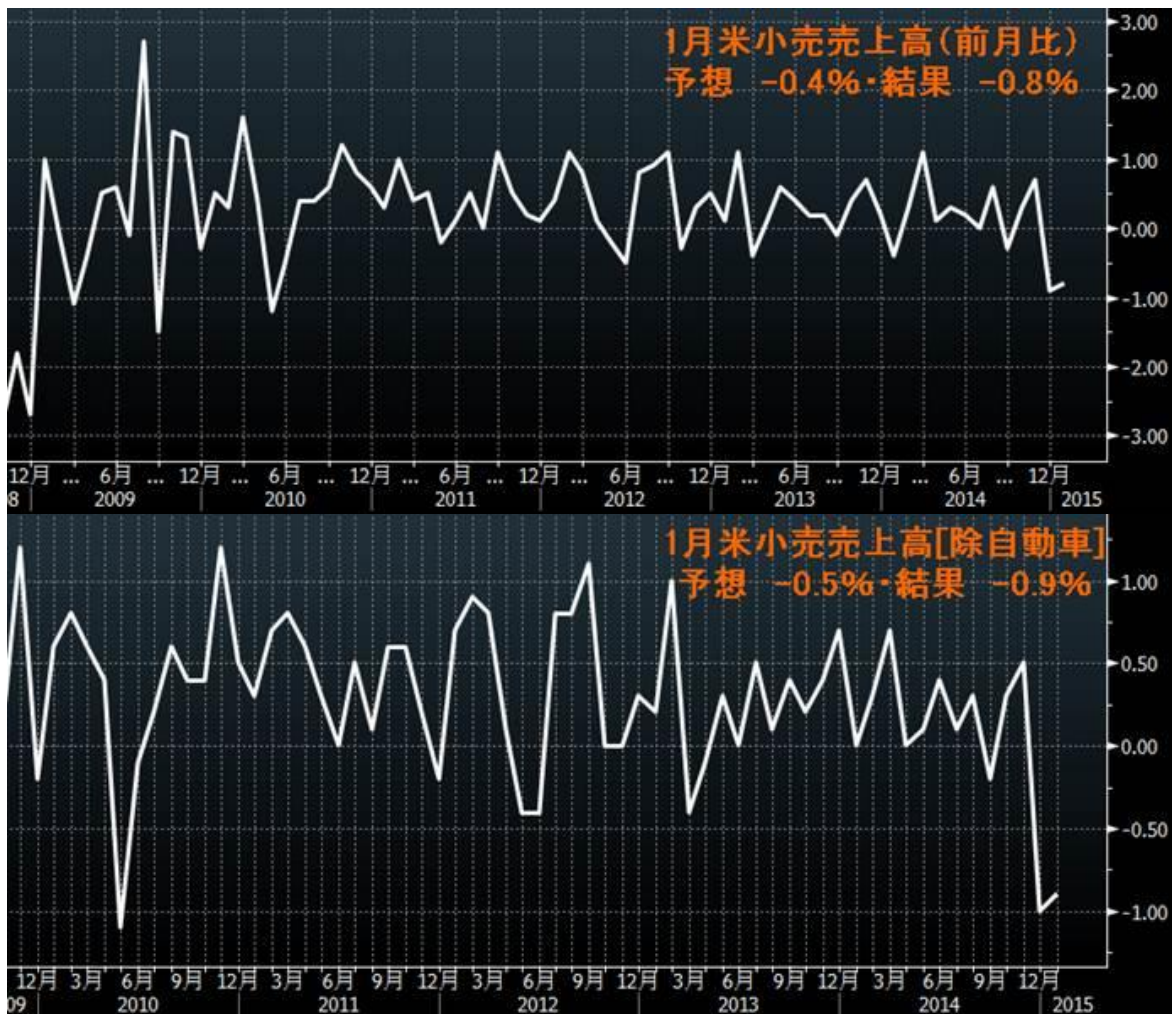
22 : 30

<< 経済指標の結果 >>

1月米小売売上高（前月比） -0.8%（予想 -0.4%・前回 -0.9%）

1月米小売売上高[除自動車] -0.9% (予想 -0.5%・前回 -0.9%)

前回発表の-1.0%から-0.9%に修正



(出所:ブルームバーグ)

指標結果データ

《米小売売上高》

	1月	12月	11月	10月	9月	8月	前年同月
小売売上高	-0.8	-0.9	0.4	0.3	-0.1	0.6	2.8
除く自動車	-0.9	-0.9	0.2	0.2	0.1	0.3	1.4
自動車・部品	-0.5	-0.8	1.4	0.7	-0.7	1.8	10.0
建設資材等	0.6	-0.7	1.9	0.1	-0.2	0.7	6.9
食品・飲料	-0.3	0.6	0.4	0.2	0.4	0.5	3.1
総合小売店	0.1	-0.9	0.3	-0.1	-0.2	0.2	1.8
大規模小売店	-0.7	-0.4	0.8	-0.1	-0.7	-0.8	0.3
その他小売店	2.6	0.6	-0.5	1.3	-1.0	1.1	7.0
(前月比%)							

22:30

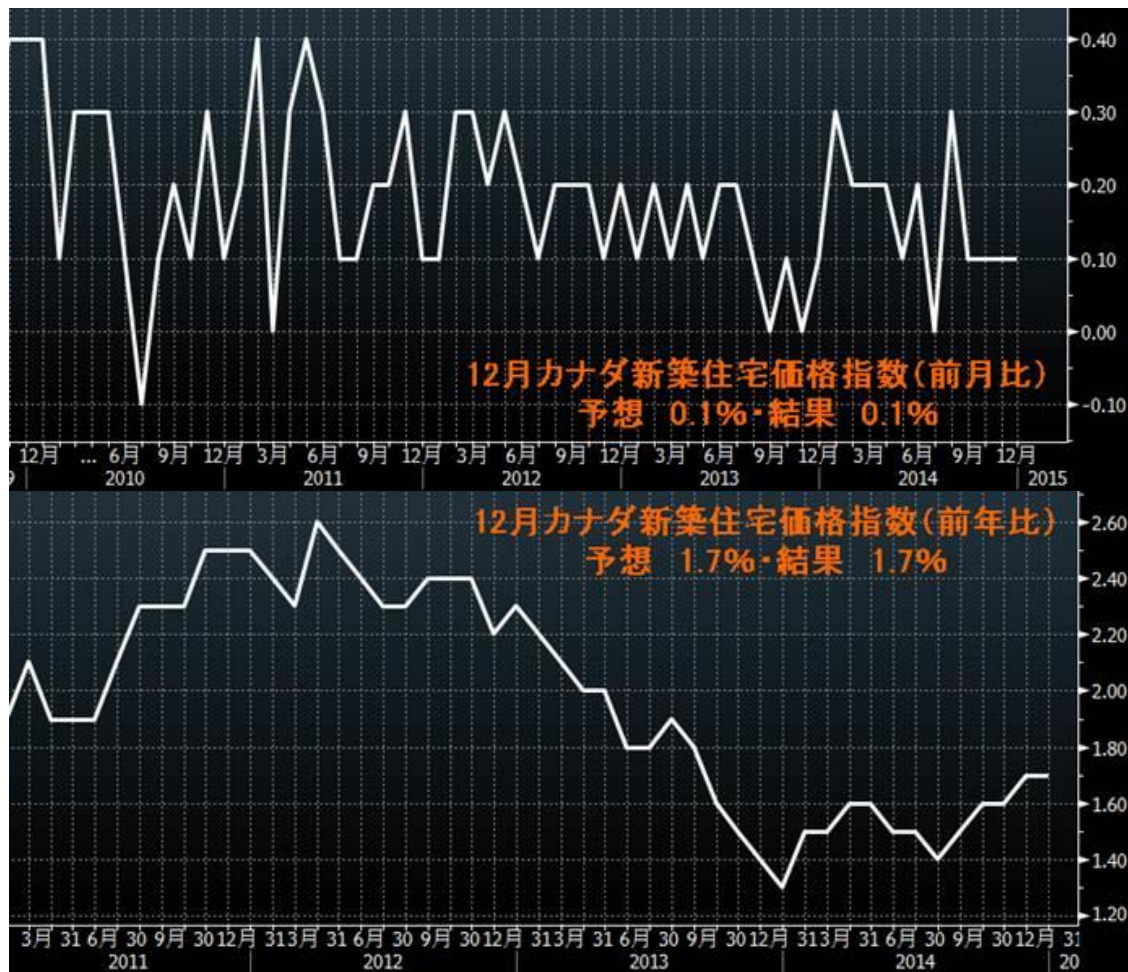
《経済指標の結果》

1月カナダ住宅価格指数(前月比) 0.2%(前回 -0.2%)

1月カナダ住宅価格指数(前年比) 4.7%(前回 4.9%)

12月カナダ新築住宅価格指数(前月比) 0.1%(予想 0.1%・前回 0.1%)

12月カナダ新築住宅価格指数（前年比） 1.7%（予想 1.7%・前回 1.7%）



（出所：ブルームバーグ）



（出所：ネットダニア）

23 : 33

米主要株価

米主要株	株価	前日比
ダウ平均	17885.46	+23.32
ナスダック	4831.61	+30.42

(出所:SBILM)

0 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

12月米企業在庫(前月比) 0.1%(予想 0.2%・前回 0.2%)



(出所:ブルームバーグ)

指標結果データ

◀ 米企業在庫 ▶

	12月	11月	10月	9月	8月	7月	前年同月比
企業在庫	0.1	0.2	0.2	0.3	0.2	0.4	3.9
製造業	-0.3	0.0	0.1	0.2	0.1	0.0	2.7
小売業	0.5	-0.3	0.0	0.2	-0.2	0.9	2.8
自動車・部品	1.3	0.2	-0.5	0.3	-0.8	2.2	3.7
卸売業	0.1	0.8	0.6	0.4	0.6	0.3	6.7

	12月	11月	10月	9月	8月	7月	前年同月比
企業売上	-0.9	-0.4	-0.3	0.0	-0.5	0.7	0.9
製造業	-1.1	-1.0	-0.9	0.1	-1.1	1.4	-0.9
小売業	-1.1	0.4	0.2	-0.2	0.6	0.2	2.6
卸売業	0.4	-0.4	0.0	0.0	-0.8	0.4	1.4

0 : 30

◀ NY 株式市場 序盤 ▶

序盤の株式市場は、ウクライナ危機をめぐる停戦合意を好感して、欧州市場が軒並み上昇となったことから、主要株価は堅調な動きとなった。ダウ平均株価は、序盤から堅調な動きとなり、一時前日比で 83 ドル高まで上昇する動きとなった。

《 経済指標のポイント 》

(1) 米失業保険申請件数は、前週比+2.5万件的30.4万件と、市場予想の28.5万件を上回り、1月17日までの週以来の高い水準となった。申請件数の4週移動平均は、前週比-3250人の28万9750人となった。また、集計が1週遅れる失業保険継続受給者数は、前週比+5.1万人の235.4万人となった。受給者数の4週移動平均は、前週比-1万8500人の240.4万人となった。そして、受給者比率は、前週から横ばいの1.8%となった。

(2) 1月の米小売売上高は、前月比-0.8%の4397億7100万ドルとなり、2ヵ月連続のマイナスとなった。また、前年同月比では+3.3%となった。ガソリン価格の下落でガソリンスタンドの販売が大きく落ち込んだほか、主力の自動車・部品なども減少した。また、変動が大きい自動車・同部品を除く売上高は、前月比-0.9%、前年同月比では+1.7%となった。

①ガソリン安では家計が負担する燃料費が浮き、消費全体を後押しすることが期待されている。ただ、他の業種の販売もさほど振るわず、小売り販売の伸びは足踏み状態が続いている。

②自動車・同部品は-0.5%、ガソリンスタンドは-9.3%と、2008年12月以来の大きな減少率、家具・装飾は-0.7%と2013年12月以来の大きなマイナス、食品・飲料は-0.3%。一方、建材・園芸は+0.6%、総合小売りは+0.1%、電子・家電は+0.3%となり、いずれ前月のマイナスからプラスに転じた。

(3) 12月の米企業在庫は、前月比+0.1%の1兆7643億9200万ドルとなり、市場予想の+0.2%を下回った。前年同月比では+3.9%となった。

①業種別では、製造業が-0.3%と2009年9月以来の大きな減少率となったものの、小売業は+0.5%、卸売業は+0.1%となった。

②自動車・同部品を除く小売業+0.1%、自動車・同部品が+1.3%、服飾が+1.3%、食品・飲料が+0.6%。一方、百貨店は-1.1%となった。

(4) 企業売上高は、前月比-0.9%の1兆3312億4500万ドルとなり、2014年1月以来の大きな減少幅となり、前年同月比では+0.9%となった。

①業種別では、製造業が-1.1%、小売業が-1.1%、卸売業が-0.4%となった。

②在庫に対する売上高の比率は、前月から0.02ポイント上昇の1.33となり、2009年7月以来の高い水準となった。

1:15

《 要人発言 》

プロッサー・フィラデルフィア連銀総裁

- ・「米小売売上高は、残念な数字だ」
- ・「現在の景気ではゼロ金利を正当化できず」

欧州主要株価	終値	前日比
英 FT100	6828.11	+9.94
仏 CAC40	4726.20	+46.82
独 DAX	10919.65	+167.54
ストック欧州 600 指数	374.83	+2.79
ユーロファースト 300 指数	1493.22	+9.53
スペイン IBEX35 指数	10562.20	+197.40
イタリア FTSE MIB 指数	21002.91	+437.15
南ア アフリカ全株指数	52507.93	+438.63

(出所:SBILM)

《欧州株式市場》

欧州株式市場は、スウェーデン中央銀行が量的緩和導入を決めたことや、ウクライナ紛争の関係4カ国首脳が停戦合意したことが好感され、主要株価は堅調な動きとなった。



(出所:ブルームバーグ)

2:00

米主要株価・中盤

ダウ 17917.52 (+55.38)、 S&P500 2080.48 (+11.95)、 ナスダック 4837.87 (+36.69)

《NY債券市場・午前》

序盤のニューヨーク債券市場は、1月の米小売売上高や失業保険申請件数が市場予想より悪い内容だったことで米景気の先行きに対する楽観的な見方が後退し、安全資産とされる米国債の買いが先行した。

午前の利回りは、30年債が2.56%（前日2.59%）、10年債が1.98%（2.02%）、7年債が1.80%（1.85%）、5年債が1.49%（1.55%）、3年債が1.03%（1.07%）、2年債が0.63%（0.67%）。

《欧州のポイント》

①英中銀は、四半期インフレ報告で、インフレ率が今後数カ月はマイナスとなる可能性があるとの見方を示した。インフレ率の低下は原油安が主因であり、国内的な圧力は増していると指摘。ただ、インフレ率は、2年後には2%となり、3年後に目標を上回る2.2%になると予想した。中銀は2015年のインフレ率予想を0.5%と、従来予想の1.4%から引き下げた。16年は1.8%、17年は2.1%と予想した。経済成長率は今年2.9%を見込み、16年と17年については2.9%と2.7%にそれぞれ見通しを上方修正した。

②スウェーデン中銀は、政策金利のレポレートゼロから-0.1%に引き下げ、100億スウェーデンクローナ（11億7000万ドル）規模の量的金融緩和策を導入すると発表。さらに追加措置の用意もあり、デフレの脅威に対抗する姿勢を鮮明にした。中銀はまた、レポレートの見通しをやや下方修正したほか、レポレート±0.1%での微調整オペを再開するとした。

③デンマーク中銀は、金融政策に関する声明を発表しなかった。今年5回目の利下げに踏み切るとの観測が高まっていたものの、金利変更に伴い通常出される声明の発表はなかった。デンマーク中銀は、主要政策金利である譲渡性預金金利を1月に3回、さらに今月5日に計4回引き下げた。現時点で、-0.75%と、スイスと並ぶ世界最低の水準となっている。また、中銀が今月これまでに、700億クローネ（110億ドル）の為替介入を実施したと推定され、1月は、為替介入に1060億クローネを投じた。

3 : 00

《米財務省 30 年債入札》

最高落札利回り 2.560% (前回 2.430%)
 最低落札利回り 2.410% (前回 2.280%)
 最高利回り落札比率 . . . 3.44% (前回 29.89%)
 応札倍率 2.26 倍 (前回 2.32 倍)

3 : 55

ギリシャ当局者

- ・「新たなプログラムが設定されるだろう」
- ・「16 日の財務相会議での合意目指し協議中」
- ・「財務次官級会議での声明を模索」

4 : 30

NY 金は、中心限月が前日比 1.10 ドル高の 1 オンス＝1220.70 ドルで取引を終了した。

5 : 20

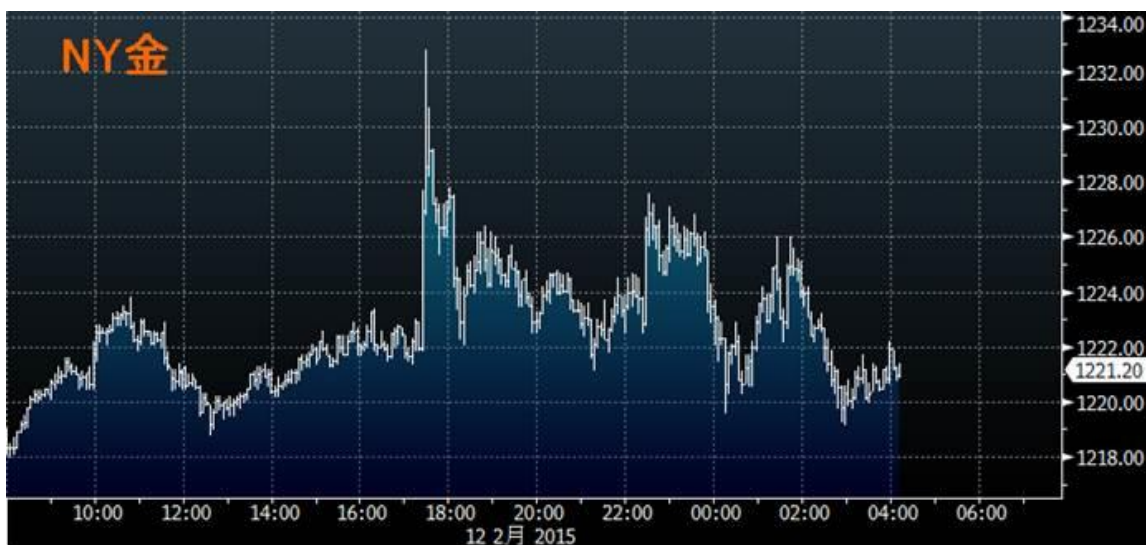
NY 原油は、中心限月が前日比 2.37 ドル高の 1 バレル＝51.21 ドルで取引を終了した。

主要商品	終 値	前日比
NY GOLD	1220.70	+1.10
NY 原油	51.21	+2.37

(出所: SBILM)

《 NY 金市場 》

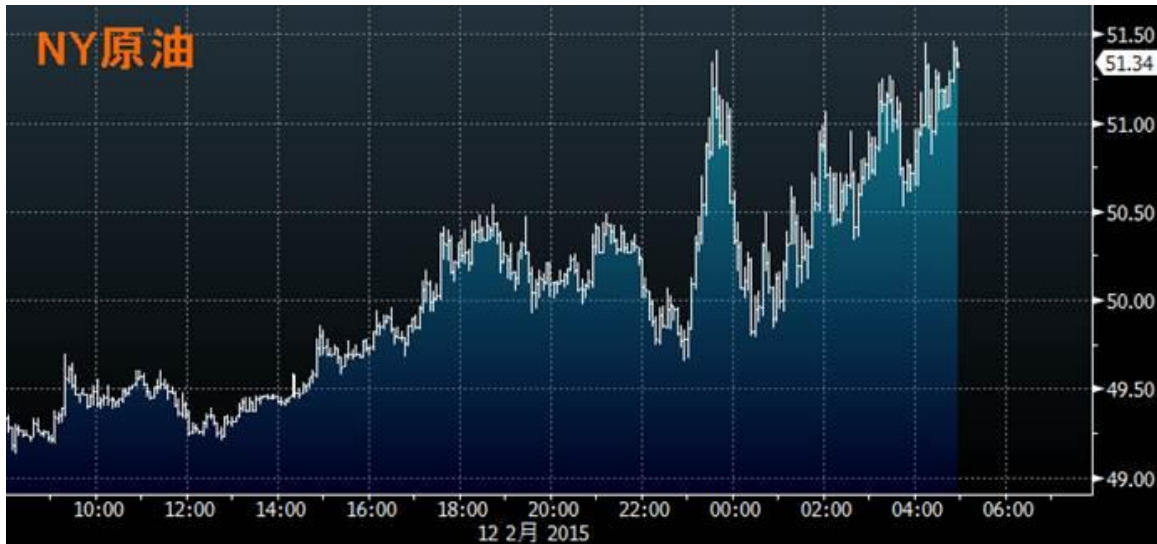
NY 金は、ドルが主要通貨に対して下落となり、ドル建ての金に割安感が出て買いが優勢となった。1 月の米小売売上高や失業保険申請件数がさえず、米 FRB が今年半ばに利上げを開始するとの観測が後退したことも支援材料となった。



(出所: ブルームバーグ)

<< NY 原油市場 >>

NY 原油は、ドルがユーロや円などに対して下落したことから、ドル建て原油の割安感から買いが優勢となった。また、石油大手のコスト削減実施に伴って、今後需給が引き締まるとの見方も下支え要因となった。



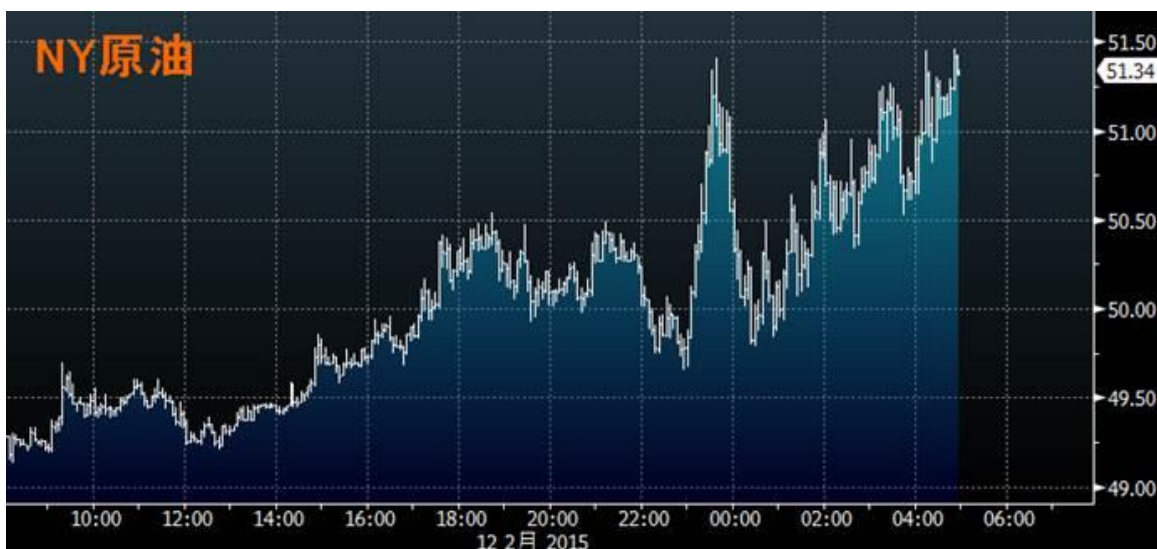
(出所:ブルームバーグ)

主要株価	終値	前日比	高値	安値
ダウ平均株価	17972.38	+110.24	17975.65	17862.14
S&P500 種	2088.48	+19.95	2088.53	2069.98
ナスダック	4857.61	+56.43	4857.61	4823.58

(出所:SBILM)

<< 米株式市場 >>

米株式市場は、ウクライナ危機をめぐる停戦合意を好感して、欧州株価が軒並み上昇となったことから、主要株価は堅調な動きとなった。ダウ平均株価は、序盤から堅調な動きとなり、終盤には一時前日比で 113 ドル高まで上昇する動きとなった。



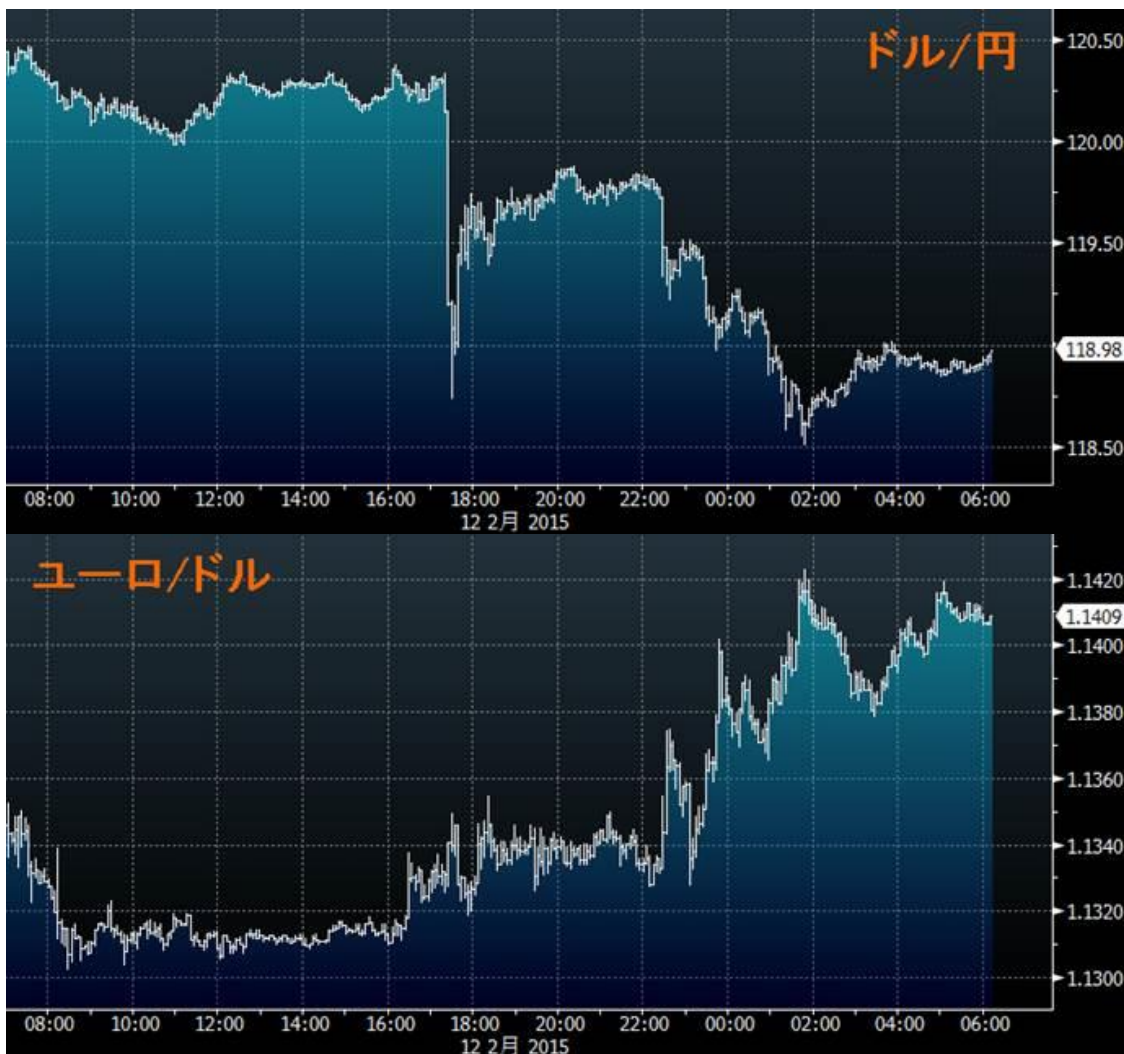
(出所:ブルームバーグ)

主要通貨	NY 終値	NY 高値	NY 安値
USD/JPY	118.97	119.84	118.52
EUR/JPY	135.64	135.83	135.12
GBP/JPY	183.09	184.18	182.32
AUD/JPY	92.05	92.25	91.60
NZD/JPY	88.35	88.81	88.02
EUR/USD	1.1403	1.1423	1.1328
AUD/USD	0.7737	0.7779	0.7669

(出所: SBILM)

《外国為替市場》

外国為替市場は、米経済指標が軒並み悪化となったことから、ドル売り・円買いが優勢となり、ドル円・クロス円は軟調な動きとなった。その後、ギリシャ支援に関する交渉への期待感が広がったことや、堅調な株価動向を受けて、ドル円・クロス円は値を戻す動きとなった。



(出所: ブルームバーグ)

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。